

トキ 野生復帰にむけて

57



第2回トキ放鳥は9月末に20羽前後

7月3日、第10回トキ野生復帰専門家会合が佐渡市で行われ、今秋に予定されている第2回トキ放鳥計画について検討されました。

第2回の放鳥は、9月末に佐渡市新穂正明寺地区でトキ20羽前後が放鳥される予定です。放鳥方法は、放鳥時になるべく自然な状態で飛び立たせる「ソフトリリース」が予定されています。

現在、「野生復帰ステーション」では、放鳥予定のトキが飛翔や採餌などの訓練をしています。

放鳥予定地の新穂正明寺地区のピオトープに、今後、地元の詳細を得ながら、簡易ケージが作られることとなります。

トキを周囲の環境に慣れさせるため、放鳥まで1か月程度飼育され、放鳥の時には簡易ケージのネットを開き、トキ



が自由にケージから出られるような方法をとります。

なお、簡易ケージでの飼育期間中は、なるべくトキに刺激を与えないようにするため、当該地区の市道について関係者以外の通行を最小限に抑えさせていただきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

市役所トキ共生・環境課

トキ交流会館 ☎63-3113
☎24-6040



佐渡トキファンクラブ

<http://toki-sado.jp/fanclub/>

佐渡トキファンクラブに入ろう！

- ・毎月1回、トキの最新情報やイベント案内、ボランティア募集、プレゼント企画などのお知らせメールが届きます。
- ・人数限定のイベントなどで、ファンクラブ会員限定やファンクラブ会員優先の企画があります。



世界遺産登録に向けて

佐渡市歴史的建造物 造物悉皆調査⑤

相川地区
その3

○大乗寺（相川下山之神町）

慶長17年（1612）開基の真言宗寺院で、境内には四国八十八箇所石仏のほか、良寛の母おのぶの実家である米問屋の相川橋屋代々の墓



や、明治初期に佐渡鉦山に勤務したお雇い外国人スコットの妻と子の墓などがあり、相川庶氏の信仰の対象とし

て親しまれてきました。

慶安3年（1650）、相川の小川と達者の間で用水権をめぐる争いがあり、この時大乗寺が小川の味方をして勝たせたことから、観音堂修復料として小川から水田が寄進されたという伝承が残っています。

今回の調査で、観音堂が1600年代中期の建築様式を持つことが判明し、伝承を裏付ける結果となりました。また、本堂と山門も、1700年代初期〜中期にさかのぼる古い建物であることが確認されました。

◆市役所世界遺産推進課 ☎63-5136

世界遺産連続講座

「金と銀の島佐渡—鉦山とその文化—」

入場無料、申し込み不要です。

開催

○9月19日（土）午後1時～3時

会場 アミューズメント佐渡 2階 研修室

・「佐渡市の寺院建築悉皆調査

—中世と近代を結ぶ島—」

講師 山崎完一さん

（株）グリーンシグマ技術顧問

○10月31日（土）午後1時～3時

会場 真野行政サービスセンター 3階

大会議室

・「西三川砂金山笹川集落」

講師 中村義隆さん

（市文化財保護審議会委員）

・「笹川集落の地割と土地利用の変遷」

講師 堀 健彦さん

（新潟大学人文学部准教授）

世界遺産出張説明いたします

市民の皆さんが主催する勉強会や現地見学会などに、世界遺産推進課職員が出向き、お話・解説をします。お気軽にお問い合わせください。

